【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成28年12月8日(2016.12.8)

【公開番号】特開2014-100143(P2014-100143A)
【公開日】平成26年6月5日(2014.6.5)
【年通号数】公開・登録公報2014-029
【出願番号】特願2013-227857(P2013-227857)
【国際特許分類】
Ａ０１Ｋ　1/015　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ０１Ｋ　1/015　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成28年10月19日(2016.10.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
排せつ物を受け入れるように構成された吸収パッドであって、
第１の角部、第２の角部、第３の角部、及び第４の角部が周囲縁に沿って互いに離れた関係に配置されるように矩形状を有する周囲縁によって取り囲まれた収集領域を含む基部層と、
前記第１の角部、前記第２の角部、前記第３の角部、及び前記第４の角部のみにおいて前記基部層に摺動可能に取り付けられたひもとを備え、
前記基部層は、開位置から閉位置に移動するように構成され、
前記基部層は、前記基部層が前記開位置にあるとき、ほぼ平坦になるように構成され、それにより、前記基部層が前記開位置にあるとき前記ひもは前記周囲縁の全体に沿って配設されるように構成され、
前記基部層は、前記ひもを前記第１の角部、前記第２の角部、前記第３の角部、および前記第４の角部の各々において前記基部層に対して摺動させることによって前記開位置から前記閉位置に移動するように構成され、それによって閉位置において、前記周囲縁は、前記第１の角部、前記第２の角部、前記第３の角部、および前記第４の角部の各々において引き寄せられて包みを形成し、前記ひもは、前記第１の角部、前記第２の角部、前記第３の角部、および前記第４の角部の各々の間を延在する前記周囲縁に沿って配置されない、吸収パッド。
【請求項２】
前記ひもは輪として形成される、請求項１に記載の吸収パッド。
【請求項３】
前記基部層は、第１の層と、前記周囲縁の形状に対応するリング層とをさらに備え、
前記リング層は、前記基部層が前記開位置にあるとき、前記ひもが前記リング層と前記第１の層の間に配設されるように構成され、
前記リング層は、前記基部層が前記閉位置にあるとき、前記第１の場所、前記第２の場所、前記第３の場所、および前記第４の場所において前記周囲縁に摺動可能に取り付けられない前記ひもの部分が、前記リング層と前記第１の層の間に配設されないように構成される、請求項１に記載の吸収パッド。
【請求項４】

前記リング層は、前記収集領域を取り囲む内縁と、前記内縁を取り囲む外縁とを有し、
前記リング層は、前記内縁において前記基部層に動作可能に取り付けられ、それにより、前記基部層が前記閉位置にあるとき、前記第１の場所、前記第２の場所、前記第３の場所、および前記第４の場所において前記周囲縁に摺動可能に取り付けられない前記ひもの部分は、前記リング層と前記第１の層の間に配設されない、請求項３に記載の吸収パッド。
【請求項５】
前記第１の角部、前記第２の角部、前記第３の角部、および前記第４の角部の各々において拘束具をさらに備え、
前記ひもは、前記拘束具の各々と前記リング層の前記内縁の間に摺動可能に配設され、それにより、前記基部層が閉位置にあるとき、前記拘束具の各々と前記内縁の間に摺動可能に配設されない前記ひもの部分は、前記リング層と前記第１の層の間に配設されない、請求項４に記載の吸収パッド。
【請求項６】
前記リング層は、前記内縁と前記外縁の間に少なくとも１つの開口部を画定して、前記ひもを握るためのアクセスを提供する、請求項５に記載の吸収パッド。
【請求項７】
前記リング層は、前記第１の角部、前記第２の角部、前記第３の角部、および前記第４の角部の各々において開口部を画定する、請求項６に記載の吸収パッド。
【請求項８】
前記第１の層は、吸収性材料から形成される、請求項３に記載の吸収パッド。
【請求項９】
前記基部層は、流体不浸透性材料から形成された第２の層を含み、それにより、前記第１の層は、前記リング層と前記第２の層の間に配設される、請求項８に記載の吸収パッド。
【請求項１０】
前記基部層は、
吸収性材料から形成された第１の層と、
液体が前記吸収パッドを通過して漏れることを防止するように構成された流体不浸透性材料から形成された第２の層と、を有する、請求項１に記載の吸収パッド。
【請求項１１】
排せつ物を受け入れるように構成された吸収パッドであって、
第１の角部、第２の角部、第３の角部、及び第４の角部が周囲縁に沿って互いに離れた関係に配置されるように矩形状を有する周囲縁によって取り囲まれた収集領域を含む基部層であって、前記第１の角部、前記第２の角部、前記第３の角部、及び前記第４の角部の各々は通路を画定する、基部層と、
前記第１の角部、前記第２の角部、前記第３の角部、及び前記第４の角部の各々においてのみ前記基部層に摺動可能に取り付けられるように、前記通路の各々を通じて摺動可能に延在するひもとを備え、
前記基部層は、開位置から閉位置に移動するように構成され、
前記基部層が前記開位置にあるとき前記ひもは前記周囲縁の全体に沿って配設されるように、前記基部層は、前記基部層が前記開位置にあるとき、ほぼ平坦になるように構成され、
前記基部層は、前記ひもを基部層に対して前記通路を通じて摺動させることによって前記開位置から前記閉位置に移動するように構成され、それによって前記周囲縁は、前記第１の角部、前記第２の角部、前記第３の角部、および前記第４の角部の各々において引き寄せられて包みを形成し、前記ひもは、前記第１の角部、前記第２の角部、前記第３の角部、および前記第４の角部の各々の間を延在する前記周囲縁に沿って配置されない、吸収パッド。
【請求項１２】

さらに、各通路を覆う蓋部を有する、請求項１１に記載の吸収パッド。
【請求項１３】
前記ひもは輪として形成される、請求項１１に記載の吸収パッド。
【請求項１４】
前記基部層は、
吸収性材料から形成された第１の層と、
液体が前記吸収パッドを通過して漏れることを防止するように構成された流体不浸透性材料から形成された第２の層と、を有する、請求項１１に記載の吸収パッド。